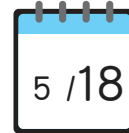


まちの話題



みんなで食べると おいしいね

木野東会館でボランティアグループ『いまいる。プロジェクト』による子ども食堂『いまいる。木野店』が開かれました。子ども食堂は食を通じて、地域でのコミュニティづくりを目的としており、町内では2カ所目。今回のメニューはカレーライス、マカロニサラダ、フライドポテト、ゼリーとボリュームたっぷり。駆けつけた小野町長と共にお腹いっぱいになるまで味わい、楽しい時間を過ごしました。



新鮮な野菜やお花 を求めて

今年も道の駅おとふけで『おはよう青空市』が開催されました。畑から直送される新鮮な野菜、山菜、花の苗、そして姉妹町である岩手県軽米町の特産品などを求め、開店前からお客さんで大賑わい。開店してすぐに人気の商品は売り切れるほどでした。季節ごとにさまざまな商品を購入できる『おはよう青空市』は、10月まで毎月第2・第4日曜日に開かれています(8月は第1・第4日曜日開催)。





役場に花の彩りを



花を通じて環境美化に取り組むサークル『フラワーシンフォニー』と音更高校の『農業倶楽部』が、協力して役場庁舎玄関にプランターを設置しました。色合いを考えながら配置された花たちについて、音更高校3年荒木愛海さんは「この花を見て心を癒やしていただければ。」と笑顔で答えてくれました。



菜の花尽くしに大満足



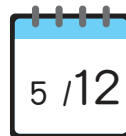
佐藤農場で『メロディーラインカフェ in 菜の花畑』が開催され、5.5ha 一面に植えられた菜の花が来場者を和ませました。カフェのメニューもなたね油で揚げたフライドポテトや菜の花の蜂蜜をかけたフレンチトースト、菜の花餃子など菜の花尽くし。来場者は目でも舌でも菜の花を楽しみました。



抹茶の香りに包まれて



総合福祉センターで認知症当事者や介護者が交流を持てるカフェ『オレンジはっぴい』が開かれ、20人が参加しました。今回は茶道サークル『好日会』を招き、抹茶の提供や、抹茶を自分でも点てられるお茶会を開催。参加した人は「美味しい。」「手首を使うことで認知症予防になるかも。」と顔を浮かべていました。



『十勝ブラックアンドホワイトショウ』に出場



町家畜共進会場で乳牛の美しさを競うブラックアンドホワイトショウが開かれました。この日のメインとなる60～81歳までがエントリーした『レジェンドカップ』には小野町長が参加。司会者から町長が紹介されると、場内は大きな拍手が。公務中の笑顔とはやや異なり、酪農経営OBとしての小野町長を見ることができた来場者には貴重な“ひととき”となりました。